

一枚起請 法然上人真筆

一枚起請文

唐土我朝に、もろもろの智者達の、沙汰し申さるる観念の念にもあらず。また学问をして、念のこころを悟りて申す念仏にもあらず。ただ往生極樂のためには、南無阿彌陀仏と申して、うたがひなく往生するぞと思ひ取りて申す外には別の仔細候はず。ただし三心四修と申すことの候ふは、皆決定して南無阿彌陀仏にて往生するぞと思ふうちにこもり候ふなり。この外に真ふかき事を存ぜば、二尊のあはれみにはずれ、本願にもれ候ふべし。念仏を信ぜん人は、たとひ一代の法をよくよく学すとも、一文不知の愚鈍の身になして、尼入道の愚智のともがらに同じうして、智者のふるまひをせずしてただ一向に念仏すべし。

証のためにも両手印をもつてす。浄土宗の安心起行この一紙に至極せり。源空が所存全く別義を存ぜず、滅後の邪義をふせがんがために所存をしるし畢んぬ。

建曆二年正月二十三日 大師在御判

私の説いてきたお念仏は、み仏の教えを深く学んだ中国や日本の高僧の方が理解して説かれてきた、静めた心でみ仏のお姿を想い描く観念の念仏ではありません。また、み仏の教えを学びとることによって、お念仏の意味合いを深く理解した上でとなえる念仏でもありません。阿彌陀仏の極樂浄土へ往生を遂げるためには、ただひたすらに「南無阿彌陀仏」とおとなえするのです。一点の疑いもなく「必ず極樂浄土に往生するのだ」と思い定めておとなえするほかには別になにもありません。ただし、お念仏をとる上では、三つの心構えと四つの態度が必要とされますが、それらさえもみなことごとく、「南無阿彌陀仏」とおとなえして必ず往生するのだ」と思い定める中に、おのずとそなわってくるのです。もし私が、このこと以外にお念仏の奥深い教えを知っていながら隠しているというのであれば、あらゆる衆生を救おうとするお釈迦さまや阿彌陀さまのお慈悲にそむくことになり、私自身、阿彌陀さまの本願の救いから漏れおちてしまうことになりましょう。お念仏の教えを信じる者たちは、たとえお釈迦さまが生涯をかけてお説きになったみ教えをしっかりと学んだとしても、自分はその一節さえも知らない愚か者と自省し、出家とは名ばかりでただ髪を下ろしただけの人が、仏の教えを学んでいなくとも心の底からお念仏をとなえているように決して智慧あるもののふりをせず、ただひたすらお念仏をととなえなさい。

以上のことを証明し、み仏にお誓いするためにも私の両手を印としてこの一紙に判を押します。浄土宗における心の持ちようとの行のありかたをこの一紙にすべて極めました。私、源空の胸の内には、これ以外に異なった理解は全くありません。私の滅後、間違った見解が出てくるのを防ぐために、考えていることを記し終えしました。建曆二年正月二十三日（法然上人の御手印）

# 鏡圓寺縁起

# 鏡圓寺開山專譽上人碑

一、佐賀郡愛敬嶋村之内唐人町 見佛山鏡圓寺

一、田数式段式拾五步半

地米式石三斗八升五合 上納地

一、当寺開基之儀寛永三年正月十一日、高麗人数十人唐人町江住居仰せ付けられ、其節有馬嶋原諸方に邪宗門蜂起の砌、高麗人帰依寺無くて相叶はず当寺相建てられ、浄土宗門に召成され、早速より家業も相成らざるに付、現米百石居屋敷一ヶ処充下し置かれ、諸方御門下番等仕居り候得共、御城中に参り候儀は悪しく存じ奉り候、右下し置かれ候、米も差上居る所も御物成相調べ申すべく候条、其替永々子孫共迄骸葬の寺地と願ひ奉り候、鏡圓寺境内一式不調に仰せ付けられ、扱亦泰盛院様御姫様御側に相勤め居り候、老女別して思召深く御扶持等も拝領御重恩の者に候処直に願ひ奉り候はじ迎もの御恩賞に何方江成共少分の寺地を下され候はば御国家安全の御祈禱とも申上げ未來永々の為に仕り度き旨折々申上げ候処聞し召分けられ、幸高麗人共願もこれあり候に付多久美作殿に仰せ付けられ愛敬嶋分の内只今寺地下給右老女転譽鏡圓と申す法名を以て鏡圓寺と寺号、扱て又毘首羯摩の作観音の尊像下給にて安置長門殿よりも寄進の弥陀の立像其の外御家老よりも寄進の仏像これあり候、右の通御建立の首尾を以て星野惣右衛門江仰せ付けられ廿五菩薩の尊像并に十王の絵も有り毎歳七月十六日開帳これあるに付警固等迄差出され来り候、其の末開基專譽上人より一二代の程は御免地御座候処に何時頃よりか上納地に相成り、今以て御上納仕り候、田数数式段式拾五步半、地米式石三斗八升五合にて御座候、尤も高麗人何れも檀那に罷成り今に其の子孫これあり候

一、古来より御製府相掛け居り候事

一、転譽鏡圓大姉 慶安四卯八月廿八日唐人町秀島源右衛門母親候也

- 開山專譽上人 二世 賢譽上人 三世 貞譽上人 四世 松譽上人
- 五世 演譽上人 六世 法譽上人 七世 湛譽上人 八世 厭譽上人
- 九世 実譽上人 十世 白譽上人 十一世 然譽上人 現住 迎譽

正面

明暦元乙羊年  
導師 專譽上人大和尚  
八月十五日



裏面

- |      |          |      |
|------|----------|------|
| 過嵯宗現 | 吉武彦右衛門尉  | 方林妙西 |
| 分販道未 | 岩松藤左衛門尉  | 庭遊妙春 |
| 念室十自 | 野口五郎右衛門尉 | 法受妙該 |
| 昌一永繁 | 洪屋彦兵衛尉   | 久月妙昌 |
| 正視清念 | 向井安左衛門尉  | 覚応妙円 |
| 心覚了三 | 名尾甚右衛門尉  | 令哥詠闡 |
| 清雲浄雪 | 樗木勘左衛門尉  | 木量幻夢 |
| 見映宗徹 | 山崎興三右衛門尉 | 真相妙哲 |
| 助給盛篋 | 小河七郎右衛門尉 | 根了妙善 |
| 花山浄香 | 江原善左衛門尉  | 満貞妙圓 |
| 虚南善空 | 栗田九兵衛門尉  | 覚岸妙正 |
| 華玉正宗 | 吉浦九郎兵衛尉  | 順喜妙悦 |
| 圓喜浄捨 | 樗木正右衛門尉  | 毫問妙白 |
| 是山道無 | 池田伊右衛門尉  | 向井妙延 |
| 源人竜捨 | 野口久右衛門尉  | 故含妙順 |
| 秋実浄信 | 牟田孫右衛門尉  | 心月妙三 |
| 長雲宗寿 | 大嶋藤右衛門尉  | 万慶妙億 |
| 澤水用泉 | 牟田軍兵衛尉   | 想月妙性 |
| 利徑道諗 | 早田千右衛門尉  | 清元妙品 |
| 明宣常光 | 牟田加兵衛尉   | 自芳妙以 |
| 来續恕迎 | 天笠市右衛門尉  | 早月妙崇 |